

		福寺、興福寺、諫早城、眼鏡橋、島原城跡、島原武家屋敷、熊本城・御殿復元整備現場、細川刑部邸	

また、博物館学芸員資格取得者には次表の研修旅行を実施した。

9・26 ～ 29	日程	研修地	参加人数	引率者
		広島県、岡山県 平和記念公園、原爆ドーム、平和記念資料館、厳島神社・宝物館、宮島町立歴史民俗資料館、広島県立美術館、竹原(伝統的文化都市環境保存地区)、大山祇神社・宝物館、浄土寺、日本はきもの博物館、郷土玩具博物館、広島県立歴史博物館、大原美術館	73名	増田勝彦 渡辺伸夫 武田昭子

(5) 秋桜祭参加報告

平成十七年度秋桜祭(十一月十二・十三日)に、本学科は、民俗学研究会(渡辺伸夫教授・大谷津早苗助教教授担当)が福島県奥会津

の田島町の年中行事の展示を行い、日本建築史演習(平井聖教授担当)が「韓国の風呂敷・日本の風呂敷」の展示を行った。

(6) 平成十八年度特殊研究講座

本学では、学問の系統ごとに、学外の著名な講師を招いて講演していた「特殊研究講座」を開催している。

平成十八年度の文化史系の特殊研究講座は次の通りである。

山内和也氏(文化財研究所・地域環境室長)

「世界遺産の危機と保存——バーミヤン遺跡の今——」

4月26日(水)

室瀬和美氏(日本文化財漆協会常任理事)

(題未定)

11月22日(水)

光葉博物館だより

〈平成十七年度展覧会〉

- 「授業資料展2005 宮廷装束を中心として」
 - 春の特別展「風を彩る うちわと扇子」
 - 学部博物館実習生による企画展「大切なもの」
 - 秋の特別展「江戸の武家屋敷」
- 1部 泥絵に描かれた大名屋敷

2部 江戸城大奥を建てる

- 短大博物館実習生による企画展「インドネシアの民俗」
- 昭和女子大学オープンカレッジ作品展「フラワーデザインの歴史をいける 花の回廊」
- 「卒業制作展2005」

平成十八年度展覧会

- 「授業資料展2006 宮廷装束を中心として」 4月3日～21日
 - 春の特別展「内藤濯と『星の王子さま』」 5月20日～6月24日
 - 学部博物館実習生による企画展 7月13日～29日
 - 短大博物館実習生による企画展 10月2日～14日
 - 秋の特別展「京漆器を愉しむ―京都国立博物館蔵・美濃屋の漆器と名工たち―」 11月1日～12月2日
 - 「卒業制作展2006」 平成19年2月末～3月
- ※休館日は展覧会ごとによる。通常は土・日・祝・長期休暇など
大学が定める休日。
<http://www.swu.ac.jp/museum/>
(学芸員 有路素子記)

文化史学会だより

文化史学会第十五回大会報告

平成十七年七月九日(土) 午後一時三十分より、昭和女子大学80

年館6階オーロラホールにおいて、当学会の第十五回大会「神奈川県大井町中屋敷遺跡発掘調査の成果―南西関東における弥生文化成立期の様相を探る―」が開催された。
プログラムは次の通りであった。

基調講演 設楽 博己(駒澤大学)

「関東における弥生文化成立期の様相」

報 告 小泉 玲子(昭和女子大学)

「神奈川県大井町中屋敷遺跡発掘調査の成果について」

研究発表 谷口 肇(神奈川県教育庁)

「南西関東における縄文時代晩期終末期
―弥生時代初期の土器変遷をめぐって―」

パネルディスカッション 「中屋敷遺跡発掘調査の意義をめぐって」

司 会 山本 暉久(昭和女子大学)

パネラー 設楽 博己・谷口 肇・小泉 玲子

話題提供 戸田 哲也(玉川文化財研究所)

佐々木 由香(パレオ・ラボ)

懇親会 研究館5階ロビーにて

文化史学会第十六回大会報告

平成十七年二月一日(土) 午後一時三十分より、昭和女子大学80年館6階オーロラホールにおいて、当学会の第十六回大会が開